保育園の政策の変化

東大和まちの財政をまなぶ会 ⑱

市立保育園は、15年から高木保育園、桜が丘保育園が民間経営になり、23年には向原保育園も民営化され、それ以降は、狭山保育園だけになった。
今回これが廃園されようとしている。

民間保育園は、民営化推進により拡充され、また、施設整備には多額の補助金が出されてきた。

最近では、認定こども園の制度が始まるとともに、国の指導の下、小規模保育事業など認可保育園以外の保育施設の設置も行われるようになった。

令和3年度予算について

市立狭山保育園の3年度予算は、2億78百万円である。正規職員人件費が1億94百万円、非正規職員人件費が52百万円である。

施設修繕料は、数十万円計上されているが、改善工事費は十分だったのか？

令和2年度から、会計年度任用職員制度が始まり、「賃金」とは呼ばず、「報酬」と言うことに変更された。

保育補助者派遣手数料(5,566千円)とは、？ 職員不足を補うため？

民間保育園への委託費・補助金は、28億66百万円、施設整備補助金は6億33百万円、認定こども園補助金は、4億2百万円となっている。

小規模保育園など認可保育園以外の保育施設に対する補助金は、3億37百万円へと増えてきた。

令和3年度予算で見る保育関連経費の財源

単位:千円

	3年度予算額	財 源		
		国・都のお金	市一般財源	保育料
児童措置費 合計	4,476,132	2,998,065	1,346,817	131,250
民間保育園運営委託・補助	2,866,210	1,696,491	1,038,469	131,250
民間保育園施設整備補助	633,085	594,116	38,969	
認定子ども園補助	401,584	288,325	113,259	
認可外保育施設利用者補助	43,016	31,598	11,418	
認証保育所補助	36,344	18,485	17,859	
小規模保育事業補助	219,149	162,000	57,149	
家庭的保育事業補助	33,734	23,888	9,846	
事業所内保育補助	5,162	3,873	1,289	
その他	237,848			
市立狭山保育園費 合計	278,306	23,223	237,979	保育料他17104
正規職員人件費	194,592	18,353	172,456	3,783
狭山保育園運営費	83,714	4,870	65,523	1,173
(内訳省略)			他収入12,148	

左の財源は、国・都からのお金16億96百万円、市の一般財源10億38百万円、保育料1億31百万円である。

民間保育園施設整備補助金の財源は、殆どが国・都からのお金である。

認定こども園補助の財源は、国・都からのお金2億88百万円、市の一般財源1億13百万円である。

小規模保育園などに対する補助金(合計3億37百万円)の財源は、国・都からのお金が2億4千万円、市の一般財源97百万円、である。

市立保育園費の財源は、予算書上は、一般財源(市のお金)2億38百万円、都のお金23百万円、保育料17百万円とされているが、一般財源の大半は国からの地方交付税が充てられていると考えられる。国から来る地方交付税に算入されているということ。

大切なことは、たとえ1カ所でも、市立保育園が必要かどうかの検討を十分に行うことだ。